

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

<目 次>

- ・ 代表理事より
- ・ 理事会報告
- ・ 総会報告
- ・ 第 18 回大会報告
- ・ 会則および諸規程の改正について
- ・ 学会誌「カリキュラム研究」第 17 号 論文募集
- ・ 事務局からのお知らせ

——< 代表理事より >——

おかげさまで、第 18 回大会を埼玉大学で開催できました。大会校の金本良通先生、二宮裕之先生、河村美穂先生には、大変手厚くご準備いただきました。誠にありがとうございました。全国的に流行した麻疹の影響も懸念され、代替会場の手配も一時検討していただきましたが、幸い当初の予定通り開催できました。

おわびが 2 件ございます。プログラムをご覧いただくとわかりますように、英語のタイトルによる自由研究発表が 2 件ございました。これにつきましては、外国語による発表の取扱について、私ども事務局の不便がありました。当該部会の関係会員、および外国語での発表を希望された可能性のある会員の皆様に対し、ご迷惑をおかけしました。これまで前例のないことでしたが、今回限りの特例とすることで、理事会でお認めいただきました。英語による発表につきましては、独立した発表部会を設けることも含め、今後検討を重ねて参ります。

また、紀要『カリキュラム研究』第 16 号のお届けが例年より大幅に遅れ、会員の皆様に大変ご迷惑をおかけしました。今号より、新たに大会報告を掲載した関係で、例年以上に編集作業に時間がかかりました。会計処理等、学会運営の実務に支障をきたしかねず、また、お問い合わせ・お叱りを頂戴しました。深くお詫び申し上げます。

本学会は、2 年後に第 20 回大会を迎えます。その記念行事につき、会員の皆様に今後おはかりをしていきたく存じます。ご意見をお寄せいただければ幸いです。(田中 統治)

——< 理事会 報告 >——

[2007 年 7 月 6 日(金)午後 5 時~7 時 30 分 (於) 埼玉大学]

定例の理事会が 7 月 6 日(金)午後 5 時から 7 時 30 分まで、埼玉大学大学会館小会議室で開催されました。理事 14 名、大会校より金本良通会員、および事務局 4 名が参加し、下記の議題を審議・決定しましたので、お知らせいたします。

(1) 総会議案について

2006 年度活動報告・決算(案)および 2007 年度活動方針・予算(案)について、すべて原案

通り承認された。

- ・現況概要：会員総数 852 名（一般 704 名、学生 137 名、団体 11 件。ただし、連絡先不明・会費未納による会員資格停止者計 123 名を含む）、うち新入会員 40 名。会費納入率 71.8%（昨年度 69.0%）。
- ・学会誌『カリキュラム研究』第 16 号発行。会報「ニューズレター」第 41, 42, 43 号発行。会報は学会 HP にも掲載されている。

（2）会則および規程の改正について

複数の理事から、「推薦による理事」の取扱に関し、「日本カリキュラム学会会則」および「日本カリキュラム学会役員選出規程」の改正が提案された。議論を経て、理事会で改正案を作成し、翌日の総会にはかることに決した（後掲）。

また、日本カリキュラム学会研究奨励賞審査委員長の磯田理事より、「日本カリキュラム学会研究奨励賞規程の一部改正及び同細則の制定について」提案があった。審議の結果、原案に軽微な修正を施し、総会での報告事項とすることで承認された。

（3）大会での発表使用言語について

代表理事より、今大会の英語による自由研究発表の申込について、学会事務局の判断および取扱に不手際があった旨、経緯の報告と釈明がなされた。種々の議論を経て、1) 英語での自由研究発表は今回限りやむを得ず特例として認めるが、先例とはしないこと、2) 英語での自由研究発表の取扱について、今後の理事会で検討するとともに、総会で会員に意見を求めること、3) 今回の大会参加者および当該部会の参加者に対し、大会会場で掲示等により、英語による自由研究発表がある旨を周知すること、4) 会員に対し、総会および会報において代表理事よりおわびすること、以上の諸点を決した。

（4）日本カリキュラム学会研究奨励賞（学会賞）について

審査委員会による選考の結果、今年度は該当無しとなった旨、報告がなされた。

（5）会員名簿の様式について

現在事務局で作成中の会員名簿について、前回と同じ様式を用いることが承認された。この名簿にもとづき、次回の理事選挙が来春に実施される予定である。

（6）理事への連絡手段の変更について

従来、郵送を中心としてきたが、電子メールの普及に伴い、今後は電子メールを中心に用い、適宜郵送を併用することが事務局より提案され、承認された。

（7）20 周年記念事業について

代表理事より、ここ 2 年間継続している日中韓の国際シンポジウムの経過に鑑み、次々回の第 20 回大会にあわせて 20 周年記念事業を実施したい旨、意向が示され、承認された。現理事会で企画立案を行い、次期理事会に引継ぐこととなる。他に、新規採用教員を対象にしたブックレットの出版構想、10 周年記念事業として刊行した『現代カリキュラム事典』の改訂等、種々意見交換がなされた。

（8）次期大会開催校について

次年度の第 19 回大会は、西日本の当番である。鳴門教育大学において、村川雅弘理事を中心に開催することで内諾が得られた、との代表理事原案が承認された。大会会期は、

通例に従い、7月4日（理事会）、5日、6日とすることが承認された。

(9) その他

1) 「図書紹介」の推薦依頼について

第15号より学会誌に「図書紹介」を掲載することとなっている。例年通り、代表理事及び紀要編集委員長より、全理事に図書の推薦を依頼した。事務局でとりまとめを行い、12月以降編集委員会へと作業を引き継ぐ予定である。関連して、事務局宛に寄贈された図書については、今後、著書に限り、会報に掲載することとなった。

2) 国際シンポジウム報告

会報第42号で既報の通り、8/5-7に中華人民共和国東北師範大学（吉林省長春市）で、国際シンポジウム”International Symposium on Implementation and Evaluation of Curriculum reform in Korea, Japan and China”（東北師範大学主催）が開催される。代表理事より、順調に準備が進んでいる旨、プログラムとあわせて報告された。

3) 国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者の推薦について

標記の件につき、独立行政法人大学評価・学位授与機構より、代表理事宛に依頼があった。事務局で原案を作成し、全理事による承認手続を得て、安彦顧問、臼井理事、長尾理事をそれぞれ推薦した旨、代表理事より報告があった。

4) 各種委員会等報告

・紀要編集委員会（磯田委員長）

①『カリキュラム研究』第16号の刊行が遅れた。来年は通常通り配布したい。

・日本カリキュラム学会研究奨励賞（学会賞）審査委員会（磯田委員長）

①11月の理事会で推薦の呼びかけを行う。

・国際交流委員会（中野委員長）

①『カリキュラム研究』第16号に海外カリキュラム研究情報（オーストラリア）執筆者のMarsh, C.氏に、謝金と刊行物を送付した。

②次号は予定通りタイである。

③次々号（第18号）はインドネシアの予定であったが、諸般の事情によりベトナムに急遽変更した。当委員会でも人選を進めている。

・研究委員会（小泉委員長）

①『カリキュラム研究』第16号の記録性を高めるため、課題研究の報告につき、体裁の整理および世話人の確認作業に時間を要した。以後、形式は今回のものを踏襲し、課題研究の報告は世話人が直接紀要編集委員会へ送付願いたい。

②課題研究の進め方につき、緊密な意思疎通が必要である。研究委員会が窓口となり、各課題研究の主たる世話人と連絡をより密にしていきたい。

③今回大会の課題研究につき、研究委員会を大会2日目に開いて総括する。

・事務局

①今後の理事会は11/10（土）13:30-16:30、筑波大学東京キャンパス、および2008年3/8（土）、時間・場所同じ、をそれぞれ予定している。

— < 総会 報告 > —

2007年7月8日、11時50分から12時25分まで、埼玉大学教養教育1号館301教室において、金本良通会員（埼玉大学）、村川雅弘理事（鳴門教育大学）を議長団として、総会が開かれた。理事会で承認された議案は、すべて承認された。

(1) 第17回大会年度決算報告（2006年4月1日～2007年3月31日）

収入の部	項目	予算額 (円)	決算額 (円)
	学会年会費	3,700,000	3,836,000
	入会金	100,000	92,000
	学会誌代・雑収入・利子等	50,000	44,837
	寄付	0	30,000
	前年度繰越金	3,629,740	3,629,740
	合計	7,479,740	7,632,577

支出の部	項目	予算額 (円)	決算額 (円)
	第17回大会経費	750,000	814,000
	第16号紀要刊行費	850,000	716,310
	学会研究奨励賞費	50,000	39,151
	印刷費（会報・封筒等）	300,000	126,945
	通信費	500,000	407,375
	会合費（含む交通費）	600,000	638,727
	人件費	760,000	606,930
	消耗品費（含む雑費）	100,000	25,138
	財）日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
	各種委員会経費		
	・紀要編集委員会	300,000	254,928
	・広報委員会	50,000	0
	・国際交流委員会	100,000	23,030
	・研究委員会	50,000	0
	・学会研究奨励賞審査委員会	150,000	119,280
	(小計)	650,000	397,238
予備費	300,000	0	
次年度繰越金	2,569,740	3,810,763	
	合計	7,479,740	7,632,577

(2) 第18回大会年度（2007年度）活動方針について

1) 一般方針

1. 年次大会の実施
2. 学会誌『カリキュラム研究』第17号発行
3. 学会研究奨励賞
4. 会報、その他の広報活動
5. 会員勧誘、会費納入促進活動
6. その他

——< 第18回大会報告 >——

日本カリキュラム学会第18回大会が、7月7日～8日、埼玉大学において開催された。全体で約250名、懇親会にも80名を越える参加者があり、幸いに天候にも恵まれ、盛会であった。

自由研究発表は18分科会61件と、昨年と同様の多数の発表があり、充実したものとなった。課題研究は、I「学習指導要領の基準性を問い直す(1)―「未履修問題」を手がかりに―」、II「カリキュラム研究におけるヒドゥン・カリキュラムの位相(1)―「いじめ」問題を切り口として―」、III「カリキュラム評価を活かす視点と方法」、IV「グローバル化の中の学力問題とカリキュラム」のテーマで行われ、今日的な話題性もあり、高い関心のもとで議論が展開された。

公開シンポジウムは、「学力調査をどうとらえ、どう活かすか ―子どもの学習とカリキュラム改善の視点から―」と題して、本年4月に悉皆で実施された全国学力・学習状況調査を中心にしながら、すでに実施されている地方自治体での学習状況調査の経験も基にして、調査結果をどのように活かしていくとよいか、また、学力調査に関わる背景と諸問題について充実した議論が展開された。

このような我が国のカリキュラムに関する研究と行政そして実践に重要な役割を担っている学会の中心的業務である大会をお引き受けしたものの、何分不慣れなためにいろいろ行き届かなかった点多々ありました。また、大会前月に麻疹の流行のため、大学大久保キャンパスの施設利用が6月中停止されるなどの緊急事態もあり、万が一の場合を考え別会場の準備も進めた次第です。幸い6月末には大久保キャンパスの施設使用がほぼ可能であることが分かり、安堵した次第です。ともかくも、たくさんの人たちに支えられまして、何とか開催校としての任を終えることができました。本当に有難うございました。

(埼玉大学 金本良通)

——< 会則および諸規程の改正について >——

前述の通り、7月の理事会および第18回大会での総会を経て、会則および諸規程の改正が行われました。会報を通じ、会員の皆様にお知らせいたします。

○日本カリキュラム学会会則の一部改正

「現行」の会則を「改正会則」のように一部改正する。

「現行」

第11条 本会に次の役員を置く。

代表理事 1名
理 事 (うち常任理事若干名)
選挙による者 20名
推薦による者 10名

(以下略)

第12条 代表理事の選出は理事の互選による。

(以下略)

第14条 各役員任期は3年とする。但し継続の場合は再任までとする。

- 2 当選理事の推薦による理事の任期は重任を妨げない。
- 3 幹事の任期は、委嘱者である代表理事に一任する。

付 則

(以下略)

「改正会則」

第 11 条 本会に次の役員を置く。
代表理事 1名
理 事 (うち常任理事若干名)
選挙による者 25名
推薦による者 若干名
(以下略)

第 12 条 代表理事の選出は当選理事の選挙による。
(以下略)

第 14 条 各役員任期は3年とする。ただし再任を妨げない。
~~2 当選理事の推薦による理事の任期は重任を妨げない。(削除)~~
~~2 幹事の任期は、委嘱者である代表理事に一任する。~~

附 則
(以下略)

会則改正

5 第 11 条、第 12 条 1 項、第 14 条 1 項及び 2 項は 2007 年 7 月 8 日改正発効。

○理事会による申し合わせ (2007.7.6)

改正会則第 11 条中、「推薦による者 若干名」の「若干名」は、5 名以下とする。

○日本カリキュラム学会役員選出規程の一部改正

「現行」の規程を「改正規程」のように一部改正する。

「現行」

第 2 条 (理事の選出) 理事は、会員の選挙による理事並びに当選理事の推薦による理事とする。

(中略)

4 投票は全国区のみとし、10 名連記とする。ただし、10 名以下の不完全連記は有効とし、10 名を越える連記の票は全員無効とする。

(以下略)

第 3 条 (理事の定員) 理事の定員は 30 名とし、選挙による者 20 名、当選理事の推薦による者 10 名とする。

「改正規程」

第 2 条 (理事の選出) 理事は、会員の選挙による理事並びに当選理事の推薦による理事とする。

(中略)

4 投票は全国区のみとし、15名連記とする。ただし、15名以下の不完全連記は有効とし、15名を越える連記の票は全員無効とする。

(以下略)

第 3 条 (理事の定員) 理事の定員は、日本カリキュラム学会会則第 11 条に定めるところによる。

附則

3 本規程は、改正の日 (2007 年 7 月 8 日) から施行する。

○日本カリキュラム学会研究奨励賞規程の一部改正（理事会決定、総会で報告）

「現行」の規程を「改正規程」のように一部改正する。

「現行」

- 4 審査対象：
前年の1月から12月までに公刊された本学会紀要掲載論文等、カリキュラム研究に関する著書・論文とする。
- 5 審査手順：
審査会内に審査委員会を構成し、全理事が毎年2月末までに論文ないし著書を、2点以内選び、理由を付して審査委員会に推薦する。委員会は、3月～4月に審査を行い、その結果を理事会に報告し、理事会の承認を得て年次総会で発表する。

付則：実施に当たっての細則は理事会において補うものとする。

「改正規程」

- 4 審査対象：
前々年の11月から前年の10月までに公刊された本学会紀要掲載論文等、カリキュラム研究に関する著書・論文とする。
- 5 審査手順：
審査会内に審査委員会を構成し、全理事が毎年前年の12月末までに論文ないし著書を、2点以内選び、理由を付して審査委員会に推薦する。委員会は、1月～3月に審査を行い、その結果を理事会に報告し、理事会の承認を得て年次総会で発表する。

○日本カリキュラム学会研究奨励賞規程細則（理事会決定、総会で報告）

日本カリキュラム学会研究奨励賞規程細則を次の通り定める。

日本カリキュラム学会研究奨励賞規程4の改正規程にかかわらず、2008年度の審査対象は、2007年1月から10月に公刊された本学会紀要掲載論文等、カリキュラム研究に関する著書・論文とする。

——< 学会誌第17号 論文原稿募集 >——

学会誌「カリキュラム研究」第17号（2008年3月発行予定）の論文原稿を募集しています。第16号巻末の【投稿要領】を熟読の上、論文投稿の締め切りは本年9月末日（当日消印有効）、送り先は学会事務局宛です。お間違えのないようお願いいたします。また、投稿にあたり、当該年度までの年会費の完納をお願いします。

※編集委員会の住所は下記の通りです。

〒305 - 8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育学系内

日本カリキュラム学会 事務局

「カリキュラム研究」編集委員会 宛

——< 事務局からのお知らせ >——

(1) 平成 19 年度分 会費納入のお願い

大会も無事終了し、年度の半ばとなりました。今年度分の年会費の納入をお願いします。本学会の誇りの一つである高い納入率を維持するためにも、納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなりますと同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、くれぐれもご注意願います。

本年度までの会費未納の方は、宛名ラベルのお名前の下に、未納年度を記載しております。前号で同封しております払い込み票をご利用になり、できるだけ早く納入してください。払い込み票は、年 2 回（春：3 月号、冬：12 月号）の会報に同封しております。

なお、事務処理上、納入時期とラベル記載情報との間に、若干の行き違いが生じる可能性があります。その際は何とぞご容赦ください。会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ささいな点でも結構ですので、ご遠慮なく事務局までお問い合わせください。

（年会費：一般 6,000 円、学生 3,000 円、団体 10,000 円）

(2) 会員名簿作成に関するお礼とお願い

「会員情報カード」のご記入・ご返送にご協力くださり、ありがとうございました。現在、記載内容について、必要に応じお問い合わせを行っております。異動等により、会員情報に変更が生じた際は、速やかに事務局までお知らせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。関連して、従来の HP 掲載情報に加え、『カリキュラム研究』第 16 号より、巻末に「入会申込書・会員情報登録票」を掲載しております。新入会員の勧誘・会員情報の変更の際、ぜひご活用ください。

(3) ご提案・ご意見をお待ちしております

本会報の理事会・総会報告にございましたとおり、事務局では現在、「大会の自由研究発表における使用言語」、ならびに「第 20 回大会における学会設立 20 周年記念事業」について、会員の皆様より、広くご提案・ご意見をお待ちしております。11 月 10 日の理事会で、議題として扱わせていただく予定です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

〒305 - 8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学教育学系内
日本カリキュラム学会 事務局
TEL & FAX 029-853-6724
振替口座番号：00880 - 0 - 69090
E - mail : jscs@nifty.com
学会 URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>